

徳島県立南部防災館の指定管理候補者の選定結果について

1 申請団体及び選定結果

申請団体名	選定結果
海陽町	指定管理候補者

(選定理由)

当該団体からは、防災関係団体はもとより学校や各公共的団体等と連携した防災対策に取り組むことが提案されており、災害時における迅速な対応と平常時における効果的な防災意識の向上が期待できる。

また、施設の管理面においては南部防災館に隣接した「まぜのおか」の指定管理者である一般財団法人まぜのおかと協働した対応が提案されており、効率的な施設管理が期待される。

これらのことから、施設の設置目的を適切に達成するとともに、適正な維持管理が出来る団体であると判断した。

2 徳島県立南部防災館指定管理候補者選定委員会委員名簿

職	氏名
徳島大学教授 環境防災研究センター長	中野 晋
東西電工株式会社 代表取締役	南淵 幸雄
徳島県社会保険労務士会 会長	米澤 和美
公認会計士	真鍋 恵美子
徳島県南部総合県民局長	折野 好信

3 選定の経緯

平成30年7月10日	第1回選定委員会 (募集要項の承認、審査基準等の決定)
7月24日	募集開始(募集要項の公表)
9月10日	募集要項配布終了
9月14日～25日	申請書類受付
9月27日～10月9日	各委員が申請書を事前分析
10月10日	第2回選定委員会 (書類審査、提案説明、質疑、候補者選定)

4 選定委員会における選定結果

施設名	申請団体名	総合得点
徳島県立南部防災館	海陽町	適（総合評価）

5 指定管理候補者の主な提案内容

区分	海陽町からの提案内容												
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	<p>① 利用者のニーズを把握するため、各団体等への意向調査、施設利用者へのアンケートを実施し、展示物、図書・DVD等防災関係資料の充実を図るとともに、「押しかけ防災講座」を積極的に行うなどサービス向上に努める。</p> <p>② 普及啓発事業について、町広報誌（全戸配布）への掲載、ホームページSNSなどにより広報を実施する。</p> <p>③ 施設の利活用・役割等を町地域防災計画に明確化し、災害応急対策実施体制を整備する。</p> <p>④ 徳島県立防災センター・徳島大学との協働事業（防災講座）を実施する。</p>												
効率的な管理運営（経済性の追求）	<p>① 適正な維持管理のため、チェック表に基づき、日常的、定期的な安全管理、維持管理、美化対策、施設・設備の保守点検・修繕などを行う。</p> <p>② 町危機管理課、一般財団法人まぜのおかとの連携により、効率的で適正な維持管理とコスト削減に努める。</p> <p>③ 講師を地元防災士やボランティアに依頼する。</p> <p>④ 指定管理料は5年間で61,703千円（税込）</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理料</td> <td>12,276</td> <td>12,276</td> <td>12,599</td> <td>12,276</td> <td>12,276</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H31	H32	H33	H34	H35	指定管理料	12,276	12,276	12,599	12,276	12,276
年度	H31	H32	H33	H34	H35								
指定管理料	12,276	12,276	12,599	12,276	12,276								
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況	<p>① 総括責任者には、消防・行政の経験者を配置する。</p> <p>② 適正な施設の管理運営を実施するため、防火管理者など管理上必要な資格を有した職員を配置する。</p> <p>③ 常勤正規職員を2名配置し、常時2名体制とする。</p>												
その他、地域への貢献及び連携等	<p>① 職員については地域からの雇用を行う。</p> <p>② 地域の各団体との会合等の機会を捉え、ニーズ把握、情報収集・収集を行うことにより、地域に貢献できる運営計画策定を図る。</p> <p>③ まぜのおかと連携した管理体制を構築する。</p>												